

部門紹介

東濃介護支援センター

責任者 加藤 範子



謹賀新年

年中はご格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
年頭にあたり、職員一同気持ちを新たに、皆様に感謝の
気持ちを込めてサービスの向上に努めて参る所存でございます。
本年も一層のお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

東濃介護支援センター 管理責任者の加藤範子です。

現在、支援センターには介護支援専門員(ケアマネージャー)が7名勤務し、毎月皆様のご自宅に寄らせていただき、顔を拝見しお話を伺わせていただいています。

いつも家に来てくれるけど『ケアマネージャー』のお仕事って何？と思われる方がほとんどだと思いますのでご説明させていただきます。

ケアマネージャーは、介護の知識を幅広くもった専門家で、介護サービスの利用にあたって、利用者様(要介護者)の人格を尊重し、公正・誠実に業務をおこなうという責務があります。

役割としては、

- ①介護を必要とする人や家庭の相談に応じて、アドバイスをする
- ②利用者様の希望に沿ったケアプランを作成する
- ③サービス事業所への連絡や手配をおこなう

です。

以上の役割を踏まえ、さらに東濃介護支援センターでは、ピンピンコロりん『ずっとわが家で暮らしたい』を支援するため、パワーリハビリ・訪問リハビリ・脳リハビリといったリハビリ中心のケアプランの作成をおこなっています。また、グループ内に土岐内科クリニック・訪問看護があり連携を密にとることで、『在宅での看取り』の支援にも力を注いでおります。

ご近所の方でも、いつまでの元気でいたいけど足が弱くなり思うように動けない、忘れることが多くなり出かける気力もなくなってきた、病院から退院のお話があるけど家で生活することが出来るか心配、とお悩みがありましたら
お気軽にお声をかけてください。



認知症「医学的理解」

県内の介護職員を対象に、長谷川理事長が講義を行いました。身体介護に比べ、認知症介護はまだまだ確立されていない部分が多い。認知症は誰が診るか、何科が診るか、専門家が少ない中で、介護スタッフが情報を共有し、市民の方に伝えてほしい。そして質を高めるために、認知症ケア専門士を目指してほしい。など、話されました。

なるほど！健康講演会

関市にて、長谷川理事長が講演されました。認知症にならないためには三大疾病を予防する。それには、運動する事、適度なたんぱく質の摂取、知的活動、社会的ネットワークをつくる事が大切であると話されました。



短時間デイの難しくない導入法

日総研セミナーにおいて、小森健市ゼネラルマネージャーがお話しされました。介護サービス経営の安定化のためには、MPAの実践、社員教育の徹底、法人としての方針の徹底、社員の厚遇と社会貢献がポイントとなる。など、当グループの取り組みを例にあげ、お話しされました。

講演・勉強会のご案内

担当者	対象者	日時	場所	内容
県立多治見病院 緩和ケア内科 部長 伊藤浩明 氏	関係者	H23.1.15(土)	セラトピア土岐3階階 大会議室	「緩和ケア病棟とは」
理事長 長谷川 嘉哉	関係者	H23.2.4(金)	NPO法人PAL研究会	「ストーリービジョンが会社を変える」

おすすめしています イチョウ葉エキス GBE-24Dr

医療法人ブレイングループは、「ずっと我が家で暮らしたい」を応援しています。
人が介護を必要とする理由、それは、動脈硬化による 麻痺 と 認知症 といわれます。
イチョウ葉エキスは血液の流れをスムーズにし、動脈硬化を予防します。
活性酵素を減少させ、癌やアルツハイマーを予防します。イチョウ葉エキスは、私たちが自信を持ってお勧めしている健康補助食品です。



ご注文・お問い合わせ先

TEL 0572-54-1103 FAX 0572-54-1093

〒509-5112

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-11-1

医療法人ブレイングループ

株式会社ザイタック 担当 小森 / 倉田

ご注文確認後、1週間程度でお届けします。

送料無料 ※90粒(約1ヶ月分)6,300円

代金引換にてお支払いください。

土岐内科クリニック内でも販売しています。



<http://brain-gr.com>

診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
13:00 ~ 16:00	訪問診療					
16:30 ~ 18:30	●	●	●	●	●	●

土岐内科クリニック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-12

TEL 受付 0572-53-0656

外来リハビリ 0572-53-1107

FAX 受付 0572-53-0658

外来リハビリ 0572-53-0667

株式会社ザイタック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-11-1

TEL 0572-54-0201

FAX 0572-54-0378

交通のご案内



● 東濃訪問看護ステーション

☎ 0572-54-0355

● 東濃介護支援センター

☎ 0572-54-1171

● ナーシングデイ

☎ 0572-54-0355

● 東濃デイ脳リハビリセンター

☎ 0572-53-1101

● 東濃デイサービスセンター東館・西館

☎ 0572-54-1103

● 東濃デイサービスセンター松坂

☎ 0572-20-1199

● 東濃デイリハビリセンター

☎ 0572-54-1196

● 東濃デイサービスセンター元町

☎ 0572-53-1010

● 東濃デイサービスセンター滝呂

☎ 0572-43-6696

「貢献・感謝・信頼」

貢献：世の中に役立つ人になる

感謝：日々の生活に感謝する

信頼：社会的、人間的成功を達成し、信頼される人になる

長谷川嘉哉理事長挨拶



新年明けましておめでとうございます。ブレイングループは、創立から10年が経ちました。今年は、ブレイングループの組織化・教育を徹底して行い、地域の皆様により安心して任せられる企業となる事をお約束致します。どうか本年もよろしくお願い申し上げます。



お客様の声 ①

これからも元気に利用
させていただきます！

現在 当サービスをご利用中の方に意見をいただきました。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。



山内 芳郎様

12月1日にオープンした東濃デイサービスセンター滝呂を利用しています。機械を使ったリハビリをやってみたい。という気持ちがあり、不安もありましたが利用を始めました。パワーリハビリが、ゆっくりしたペースで動かす運動だったので、自分の通っている整形の先生に「それで効果があるのか？」と聞いたところ「それがいいですよ」という返事だった。治る病気ではないが、パワーリハビリを続けて少しでも良くなる事を期待している。介護士さんは若い方もおみえになり、話も気軽にでき、家では味わえない雰囲気がある。毎日楽しく過ごしています。

お客様の声 ②

楽しくウォーキングに出かけた朝、倒れて硬膜下出血となり、手術をしました。その後リハビリ病院に入り、食事やリハビリを進めていき、少しずつ良くなりましたが、なかなか思うようにできず、辛い思いを致しました。

また、先生より水頭症の手術も必要といわれ、そのたびに主人の気持ちも暗くなりました。

先生より、「リハビリを頑張って」と言われ、リハビリを続けている時、ケアマネさんより、「デイサービスへ行かれたら？」と勧められました。

早速行ってみたら？と、東濃デイサービス松坂で、1日過ごして帰ってきた時、主人から「とても良い所だから、明日から行くよ」という言葉が聞かれました。

毎日着替えを持ち、「行ってきます」と元気よく通わせてもらいました。書けなかった文字が書けるようになり、家族で喜びました。毎日学校(東濃デイサービス松坂)へ行くと言って出かけ、パワーリハビリのお蔭か、今年の夏頃より歩行ができるようになりました。

家族、兄妹も喜んで、ついに一泊旅行を計画。気をつけて生活していたのですが、楽しみにしていた旅行の2日前、心臓病にて永眠してしまいました。

とても残念です。

主人が残してくれた色々なデイサービスさんの日誌。時々描いてきた塗り絵。そして、私宛てに書いてくれた暑中見舞いのレターが、主人の遺書となって残りました。最後は何も言わずに逝ってしまいました。

いろいろお世話になり、ありがとうございました。

ホムドクスクエア

逆流性食道炎



院長 橋本 貴至

最近テレビや広告などで、「逆流性食道炎」に関して大々的に報じられています。今まではお腹の症状の病気と言えば「胃潰瘍」が一番有名で、一般の人々にもかなり知られています。しかし、最近腹部症状の原因として、逆流性食道炎の頻度が増してきており、医学界・世間においてもとても注目度が高い病気となっています。そこで今回は、「逆流性食道炎」についてお話をします。

逆流性食道炎とは？

通常、胃から胃酸や食べ物が食道内へ流入（逆流）しないように、一定の圧力がかかり、閉まっています。しかし、何らかの原因で胃酸が食道へ逆流し、その酸が原因で食道粘膜に炎症をおこしてしまった病気を「逆流性食道炎」といいます。ストレス・食生活の欧米化・肥満などの現代日本人の抱える健康問題と共に急増しています。

症状は？

主な症状には、胸がやけるような感じの胸やけ・ノドのイガイガする違和感・ゲップ・胃のあたりが重苦しい・おなか張る感じなどがあります。これらの症状が続く場合は、逆流性食道炎の可能性があります。又、これらの症状はひとつだけではなく、重複してでる場合も多くあります。

どういう人がなりやすいですか？

油っぽいものを多く食べる方・過食の方・ストレスの多い方・太っている方・高齢で腰の曲がった方に多い病気です。

診断方法は？

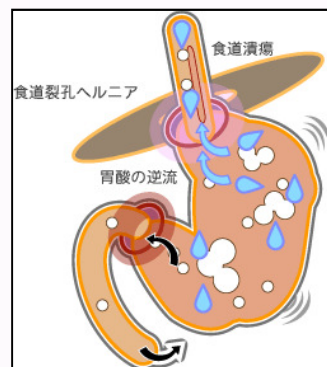
胃カメラで、胃と食道の境界部を観察し炎症の有無によって診断します。重症度は、Grade N・M・A・B・C・Dの6段階に分けられています。一番重症のGrade Dになりますと、食道の全周の75%以上が胃酸に荒らされています。又、FSSG問診票という専門の問診票があり、そこで点数化して逆流性食道炎を診断する事も可能となっています。

治療は？

生活態度を改めることが基本で、これでかなりの人の症状は軽快します。暴飲暴食、早食い、食後すぐに横になることは三大悪と考えられています。就寝時には頭を高くする事も大事です。薬物療法では、胃酸を抑える目的で、最も効果が強いプロトンポンプ阻害薬の投与が第一に選択されます。少し効果の弱いH2ブロッカーも多く利用されています。これらの内服薬治療で、かなり高率に症状は改善されていきます。

逆流性食道炎は、元来日本人には少なかった病気ですが、食生活の欧米化や乱れ・ストレス・肥満に伴い上昇しています。これらを是正すると共に、正しい病気の知識を持ち治療をしていく事がとても大切です。

土岐内科クリニックでは、いつでも上記の様な症状があったらお気軽にご相談下さい。



今月のホムドクの一言

— 逆食(逆流性食道炎の略)も 逆切れする子も 食事から —